

# ポロニア

ポロニアは県花「桐」の学名です。

第48号

2022-7

令和4年7月4日発行

発行／岩手県高等学校PTA連合会

【事務局】盛岡市上田三丁目2-1 TEL(019)625-6386  
E-mail iwa-koupren@aroma.ocn.ne.jp FAX(019)613-7795

## 令和4年度 県高P連 定期総会・研究協議会開催



▲県高P連大柏会長

岩手県高等学校PTA連合会（以下、県高P連）は、6月3日にサンセール盛岡にて、令和4年度定期総会並びに研究協議会を開催しました。昨年、一昨年と、新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小するなどして対応してきましたが、今年度は万全の感染症対策を行った上で、67校206名の方が参加しました。

県高P連表彰では87名の方が受賞したほか、広報誌コンクールでは最優秀、優秀、優良と各賞において8校が受賞しました。全受賞者および受賞校を代表して、遠野高等学校PTA会長の松田恵市氏は「教職員の方や、活動をともしてきた仲間のおかげで受賞することができました。コロナ禍という苦しい状況下ではありますが、多くの出会いがあったこと、そして子どもたちの笑顔に触れることができ、大きな財産につながりました」と、謝辞を述べました。

また来賓として、岩手県教育委員会の佐藤博教育長（代理として岩手県教育委員会生涯学習文化財課の久慈孝総括課長が出席）と岩手県高等学校長協会の梅津久仁宏会長、岩手県PTA連合会の岩館智子会長より、それぞれ挨拶をいただきました。

議事では県高P連の横山由美理事（岩手県立盛岡第三高等学校）が議長を務め、令和3年度および70周年記念事業の会務報告や収支決算について審議。令和4年度の役員選出や事業計画、今年度開催される第71回東北地区高等学校PTA連合会盛岡大会などについても事務局より原案が提出され、すべて承認されました。なお、当初6月30日に開催を予定していた同大会のレセプションは、新型コロナウイルス感染症が未だ収束していないことから中止となりました。

議事に続いて行われた研究協議会では、「成年年齢引き下げに伴う危険について」と題し、盛岡市消費生活センターの渡辺貴博主査より講演いただきました。

成年年齢が引き下げになったことにより、18歳から保護者の同意なしにさまざまな契約を結ぶことができるようになります。未成年者であ

れば原則として、保護者の同意がない契約を後から取り消すことのできる「未成年者取消権」が適用になりますが、成年になるとその対象からは除外されます。その一方で、飲酒や喫煙、競馬、競輪などは健康面などを考慮して20歳以上という年齢制限が維持されています。



▲研究協議 18歳成年の危険性について 渡辺貴博 氏



▲祝辞 岩手県P連 岩館智子 会長



岩手県 高等学校長協会 梅津久仁宏 会長



岩手県教育委員会 生涯学習文化財課 久慈孝 総括課長



▲謝辞 遠野高校 松田恵市 前会長



▲最優秀広報誌の黒沢尻北高 太田直承 会長（左）

〔講演〕

# 演題『SDGsとは?』

## 昭和世代のための

### SDGs教室



講師  
村井 淳氏

(ムライロCOMPANY  
代表取締役)

定期総会に続いて行われた講演では、盛岡市役所の職員として長年勤務した経験を持つ村井淳氏が登壇しました。現在は「応援することで地域を元気に」というモットーを掲げ、SDGsの啓発活動に従事しています。

SDGsは17の目標と169のターゲットからなる国際目標のことで、「誰一人取り残さない」を理念としています。

村井氏は現在の小中学生や、Z世代と呼ばれる1990年代後半から2000年代に生まれた人たちは、SDGs関連イベントへの参加意欲が高く、ジェンダー平等などへの関心も高い傾向にあると解説。「誰もが自分事として捉え、日常をSDGsの視点を持って見ることが大切です。一人の100歩よりも1000人の一歩という考え方で、ぜひ身近な所から取り組んでいただきたいです」と語りました。



令和4年度岩手県高P連  
定期総会 個人表彰受賞

盛岡第一	副会長	佐藤 竜太
盛岡第三	員	佐久山 衛
盛岡第三	員	横山 由美
盛岡第三	員	高橋 香
盛岡第三	事務局長	佐藤 清一
盛岡第四	員	菅原まゆみ
盛岡第四	副会長	三上 朋子
盛岡北	員	志田 順悦
盛岡北	副会長	菊地 美佳
盛岡南	員	田口 雅敏
盛岡南	副会長	金子 恵
盛岡南	副会長	藤澤奈津子
盛岡南	副会長	小田島智恵
不來方	副会長	中村 芳枝
不來方	副会長	佐々木隆敏
盛岡農業	副会長	安ヶ平真弓
盛岡工業	員	文屋 陽輔
盛岡工業	副会長	熊谷 大輔
盛岡工業	副会長	井上めぐみ
盛岡工業	副会長	三上 嘉子
盛岡商業	員	伊藤 哲也
盛岡商業	員	伊藤 哲也

平 館	副会長	佐々木英行
紫波総合	副会長	大崎千寿子
盛岡市立	員	及川 大造
盛岡市立	副会長	岩崎真今子
花巻北	員	小田島英樹
花巻南	員	及川 功
花巻農業	員	晴山 明嘉
花北青雲	員	瀬川 浩之
大 迫	員	伊藤 浩之
黒沢尻北	副会長	松村 淑子
北上翔南	副会長	高橋 幹夫
北上翔南	副会長	及川 亨
北上翔南	副会長	菅原 修
黒沢尻工業	員	中島いずみ
西和賀	副会長	村上光太郎
遠野	員	松田 恵市
遠野緑峰	副会長	藤原 豊
水 沢	員	菊池 祐
杜陵奥州校	員	足立 尚子
水沢農業	副会長	千田奈津子
水沢商業	員	佐々木友也
前 沢	員	佐藤加奈子
金ヶ崎	員	海鋒 徹哉
岩谷堂	員	小原 千春
岩谷堂	副会長	菊池みどり
一関第二	員	吉田 直子
一関第二	副会長	岩淵 香織
一関工業	副会長	眞籠 智子
花 泉	員	高橋 飛鳥
花 泉	員	熊谷 和幸
花 泉	員	菅原 善昭
花 泉	員	菅原 善昭
大 東	副会長	勝部 健一
大 東	副会長	瀧澤 和美
千 厩	副会長	近江 大介
千 厩	副会長	三浦 潤子
高 田	副会長	及川 滋子
高 田	副会長	及川 滋子
大船渡	副会長	三浦 英和

### 令和3年度岩手県高等学校PTA連合会 第26回広報紙コンクール入賞校

#### ◆最優秀賞(1校)

黒 沢 尻 北	黒陵 vol.140 東北地区コンクール優秀賞
---------	----------------------------

#### ◆優秀賞(2校)

盛 岡 北	MORIKITA 創刊号 東北地区コンクール優秀賞
前沢明峰支援	ひだまり 第148号 東北地区コンクール優良賞

#### ◆優良賞(5校)

盛 岡 第 二	盛岡二高PTA通信令和3年度第1号
盛 岡 第 四	志高 Vol.154
杜 陵	杜陵高校PTA会報 第47号
花 巻 南	花南 みなみ風 138号
大 船 渡	さかみち 第101号

◇最優秀賞・優秀賞：  
令和3年度東北地区広報紙コンクールへ推薦

葛 卷	副会長	大川原洋一
葛 卷	副会長	服部 健
沼宮内	副会長	佐藤 幸
沼宮内	副会長	田中由香理
一 戸	副会長	仁昌寺泰夫
一 戸	副会長	田村 隆博
福岡工業	員	立花 千明
伊保内	副会長	野崎 典子
伊保内	副会長	道地 勇
輕 米	員	中里 将幸
久慈工業	員	小野寺輝彦
久慈東	員	日形井勇人
久慈	員	越戸 和美
宮古商工	員	宇都宮 崇
宮 古	副会長	小成 千明
宮 古	副会長	武藤 嘉宜
宮 古	副会長	小林 康弘
釜 石	副会長	大瀧 忠和
釜 石	副会長	太田 悦子
住 田	員	佐々木純子
住 田	員	幸治 悟
大船渡東	副会長	木下 克美
大船渡東	副会長	海山 忠
大船渡	副会長	村上 卓忠

### 令和4年度役員

梅津久仁宏	(校長協会会長)
渡辺正和	(元会長)
清水成樹	(前会長)
伊藤玉男	(大東)
八重樫正尚	(盛岡農業)
壽松木亨	(久慈)
沢口勝利	(福岡工業)
小林隆広	(大槌)
佐藤邦生	(住田)
千葉博幸	(一関工業)
佐々木敏紀	(水沢)
小林立栄	(遠野緑峰)
川村敦	(花巻農業)
福田裕美	(雫石)
玉内昭子	(盛岡南)
長澤武久	(盛岡第四)
中村直紀	(盛岡北)
高宮文昭	(葛巻)
今野義也	(大船渡)
小野寺勝	(水沢工業)
太田宣承	(黒沢尻北)
村上智加子	(盛岡第二)
大柏良	(盛岡第一)

# がんばる岩手

岩手県立一関第二高等学校PTA会長 山平 功二



## PTA活動 の継承へ

2年間のPTA副会長を経て、本年度PTA

A会長となりました山平功二です。この2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大により、部活動をはじめとする学校生活が制限され、PTA活動も総会や理事会も集まらないうえ、PTA活動の継承が難しくなってきました。3月には、日本政府よりイベント制限の撤廃が表明され、社会経済が動き出してきていますので、本年度のPTA活動は、出来るものと思っております。本校でのPTA活動の実績がない私どもが活動していくには、PTA役員の先輩方の協力が必要になってきます。勿論アフターコロナを見据えて新しい生活様式の中、PTA活動も見直しながら進めることになりませんが、本校の伝統も守っていかなければいけない部分もあると思いますので、十分に検討しながら活動を計画していきます。

本校では、学校から保護者への新しい連絡システムとして、「eメッセージ」を導入しました。このアプリを利用して、学校からの御案内、生徒の感染状況などの情報が発信され、保護者は、学校の状況が早く把握できるようにになりました。また、メッセージ開封返信機能がついているため、学校側も保護者がどのくらい見ているか確認できるようになっています。

コロナ禍ではありますが、このような改善を進めることで、学校と保護者が一体となって、生徒たちを感染症や災害から守り、お互いに助け合いながら、様々な活動に協力していきたいと考えております。これからも一関第二高等学校PTAをどうぞよろしく願っています。



▲6月15日(水) 3学年保護者向け進路ガイダンスにおけるJRC部と共同で行なった「ウクライナ人道危機救援募金」

## 岩手県学生会館入寮生募集

～初めての東京生活を支える安心の寮生活～



【会館施設概要】

●所在地  
〒171-0043  
東京都豊島区要町  
2-5-5  
JR池袋駅まで徒歩  
15分、東京メトロ  
要町駅 徒歩5分

### ●資格

岩手県出身者で大学院、大学、短期大学、専門学校等に通学する人

●寮費 月額80,000円(朝夕2食)、  
入寮時費用 10万円

●室内 洋室13.5㎡(全室個室)

●設備 机、本棚、ベッド、クローゼット、洗面化粧台、冷暖房器等

【申し込み・問い合わせ】

公益財団法人 岩手県学生援護会(岩手県学生会館内)  
TEL:03-3972-4783

※募集要項、申込書類はホームページから  
<http://www.gakuseikaikan-iwate.or.jp/>

## 請求なければ支払いなし

### (一社)全国高P連賠償責任補償制度

PTA単位で加入する制度で発足後21年目となりました。

令和4年6月現在

〈加入状況〉全国 2,269校 1,172,830人  
岩手県 67校 22,756人

〈事故の際は〉

全国高P連賠償責任補償制度事故受付電話  
0120-720-110 (24時間365日受付)

### 岩手県高P連高校生総合保障制度

〈加入状況〉令和4年5月16日現在 2,981人  
Aプラン(病気補償あり) 63校 1,704人  
Bプラン(病気補償なし) 58校 585人  
Cプラン(自転車重点型) 56校 692人

〈お問い合わせ〉AIG損害保険株式会社盛岡支店  
TEL 019-651-0584

## 母親委員会の名称及び 委員会規程について

昭和から平成に替わる頃、男女共同参画の機運も高まってきた頃でした。当時は、各校PTA会長も高P連役員もほとんどが男性だったために、女性会員の研修の機会も少なく、女性の声が高P連の運営や上部団体・外郭団体に届きにくいという理由から、高P連でも母親委員会を設置する機運が出てきました。

そこで、平成3年度に準備委員会を立ち上げ、先進県から学びながら、平成4年度の定期総会で母親委員会の設置が承認され、活動を開始しました。

しかし、暫くの間、全県的な研修や交流の場を設けられないまま推移しました。平成10年度に、当面会長研修会に合流し、合同研修としてスタートすることとし、また、同年から理事に母親委員会から2名参加することになりました。その後、平成11年度・12年度の2年間は、合同研修の形で開催し、平成13年度に第1回母親会員交流会が開催されました。

時代も平成から令和に替わり、母親委員会の名称や委員会規程が時代にそぐわないという意見が出され、母親委員会を廃止する学校も出てきました。

そんな中でも、昨年度第21回母親会員交流会がコロナ禍でも開催され、大変有意義な研修をすることが出来ました。現在の県高P連の活動の中でも母親委員会が最も活発であるのも事実です。高P連としては、母親委員会を廃止するのではなく、名称や委員会規程を始め、今後の活動内容も含めて検討し、より良いものにしていきたいと思っています。

そこで、今年度1年間かけて検討して、令和5年度の定期総会で、現状にそぐわない部分の訂正も含めて、会則及び委員会規程の改正をしたいと思いますので、ご協力の程よろしく願っています。

(事務局)

## 福工における PTA活動の報告

岩手県立福岡工業高等学校  
PTA会長

沢口 勝利



▲PTA総会と同時に実施した進路講演会、講師の方々

PTA総会と同時に実施した進路講演会、講師の方々は、感染症対策のため、PTA総会時にPTA進路講演会を実施し、地元企業人事務の方から「企業の求める人材像」と題してお話を伺いました。生徒・保護者共に進路について学

びを深める貴重な機会となりました。また、夏休み明けには登校時挨拶運動を実施し、参加した方から「学校での子どもたちの様子を垣間見ることができて良かった。」等の感想をいただきました。



▲登校時挨拶運動の様子

本校は、機械システム科と電気情報システム科の2学科を有する工業高校です。今年度創立58年目を迎え、県北地区における工業技術者の育成を目指し、それぞれ科の特色を活かした教育活動を行っております。また、平成28年度に、みたけ支援学校二戸分教室高等部が併設され、体育大会や文化祭などの行事を通して親交を深めており、お互いを認め合い、思いやる心を育てております。

今後とも困難な状況が続くと思われませんが、学校と連携を取りながら子どもたちを支援する活動を企画・立案し、多くの保護者の皆さんが学校に足を運ぶことが出来る機会を作っていきたいと考えております。PTA活動の醍醐味は学校を中心とした人と人との交流だと思えます。早くコロナが終息し、以前のような活発な交流や活動をできる状況に戻ること



▲進路講演会、生徒と一緒に出席された保護者の方々

## 学校の サポーターとして

岩手県立大槌高等学校  
PTA会長

小林 隆広



ただ残念ながら、ここ2年は新型コロナウイルスの感染防止対策のために、PTA各種行事の中止や規模縮小を強いられ寂しい限りです。今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、従来のや

本校は令和元年度に創立100周年を迎えた歴史ある学校です。「真理・礼節・健康」を校訓に現在167名の生徒が学校生活をおくっています。生徒の進路も四年制大学・短期大学・専門学校・民間就職・公務員と多岐にわたり進路目標の実現に向け、皆頑張っています。通常の部活動、委員会活動の他に「復興研究会」と「はま研究会」という本校独自の活動もあり、定点観測を行い、町の復興過程を記録したり、海や川の生き物の生態調べなどを行っています。



▲朝のあいさつ運動



▲研修旅行

り方に固執することなく柔軟に企画し、学校としてかり連携をとりながら、生徒の高校生活がより充実したものになるよう活動していきたいと考えております。最後に、会長という重責に就いて恐縮ではありますが、新役員と共に精一杯努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

## 編集後記

令和4年度、最初の会報「ポロニーア」第48号をお届けします。

日頃より、会員の皆さんには、県高P連の広報活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。また、編集にあたり、ご多忙の中ご寄稿いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染者がなかなか減少しない中、行事の中止や縮小があり、我慢の日々が続いております。皆さんが集い、同じ時間を共有することが難しい現在、思いを文字や写真で伝え、その思いを共有することが出来ることを、広報活動で改めて気づかされています。文章にこめられた思いを読み取っていただきたいと思います。

各高校のPTA会報を読んでもみると、すべての学校が感染症対策を工夫しながら、行事に取り組んでいる様子が生き生きと映し出されています。このような社会情勢のなか、PTA活動をどのように行っているか、情報交換や学習会をする機会があれば、大いに役立つかと思っております。広報活動や外部発信が、いかに重要であるか試されている時期であると思えます。

本年度も、調査広報委員会一同、会員の皆様に楽しんでいただける誌面作りに取り組んでまいります。1年間頑張りますので、これからも宜しくお願い申し上げます。

調査広報副委員長・川村 敦

### 〈編集委員〉令和4年度調査広報委員会

- 委員長 太田 宣承(黒沢尻北高校)
- 副委員長 川村 敦(花巻農業高校)
- 委員 山崎 弘之(紫波総合高校)
- 小澤 進哉(水沢商業高校)
- 今野 義也(大船渡高校)
- 須藤 行真(黒沢尻北高校)
- 佐藤 尚(県高P連)
- 木村 智子(県高P連)

### ◇事務局

- 委員長 太田 宣承(黒沢尻北高校)
- 副委員長 川村 敦(花巻農業高校)
- 委員 山崎 弘之(紫波総合高校)
- 小澤 進哉(水沢商業高校)
- 今野 義也(大船渡高校)
- 須藤 行真(黒沢尻北高校)
- 佐藤 尚(県高P連)
- 木村 智子(県高P連)